

医師・日本共産党中央委員会政策委員、
党東京都委員会コロナ対策本部長

■衆院選に比例東京ブロック予定候補
（東京4区重複）

■長崎県出身。医療現場25年（大田
病院、大森中診療所、京浜診療所、
中野共立病院、東葛病院）

■原爆症認定訴訟、水俣病検診、年
越し派遣村、被災地支援に参加。
街頭での相談活動を仲間達と継続中

いのち最優先 谷川 智行

たにがわ ともゆき

2023/8/27 NO3

発行 日本共産党大田地区委員会



核兵器のない世界を

終戦記念日宣言

8月15日、蒲田駅西
口で街頭演説。決して
「新たな戦前」などに
させない決意を込めて、
以下の柱でお話しさせ
ていただきました。

▽戦争国家づくり

唯一の戦争被爆国日本
がやるべきは、軍拡や



核配備で他国を脅すこ とではなく、憲法9条 を活かした徹底した外 交努力で平和な東アジ アを実現すること。

「抑止力」で相手に恐
怖を与えるやり方は、
軍事対軍事の悪循環を
生み、戦争のリスクを
高めるだけ。軍事によ
る「抑止力」ではなく、
憲法9条を活かした外
交力こそ必要。

▽核兵器のない世界

長崎県で生まれ育つ
た私が、初めて被爆者
の方からお話しを伺っ
たのは40年以上前。
子どもながらに、「原
爆だけは絶対にダメだ」
との被爆者の方の言葉
を心に刻んだ。

・医師となり、被爆者
の皆さんが国を相手に
たたかわれた原爆症認
定訴訟の医師団に加わ

核抑止とは

いざという時には核兵器を
使用することをためらわな
い、ということ为前提とし
た議論です。

※一方が核を使用するなら
ば、他方は、核の報復でこ
たえます。

その結果は、ニュークリア・
ホロコースト——核による
大虐殺です。核抑止は、誰
の安全も保障するものでは
ありません。

り、被爆者の皆さんと
ともに闘わせていただ
いたことで、核兵器廃
絶への思いをさらに強
くした。

今年の広島、長崎の平
和宣言では、「核抑止
力」論の破綻がはつき
りと宣言された。遠い
未来の理想だった「核
兵器廃絶」が、被爆者
の命懸けの証言と市民
の運動によって、いま
さに現実の課題として、
各国政府に突きつけら
れ、世界を動かしてい
る。世界から取り残さ
れているのが日本政府。

岸田首相は、この声に
正面から向き合うべき。
維新の会が主張する
「核共有」など言語道
断。核抑止から脱却し、
核兵器禁止条約に参加
する政府をつくるため
に、ともに力を合わせ
よう！

核兵器禁止条約に

批准・参加を

11月の核兵器禁止条
約第2回締約国会議に、
オブザーバーとして参
加することを、政府に
求めよう。

谷川智行



新しい戦前になるん
じゃないでしようか

昨年末、「徹子の部屋」
に出演したタモリさんが、
「来年はどんな年になる
か」という問いに答えた
言葉が波紋を呼びました。

谷川智行事務所開き

前回の総選挙からもうすぐ2年。市民連合おたの会の皆さんをはじめ、多くの方々の努力で、心が通う素晴らしい共闘のたたかいができました。選挙後も、その責任を背負っていると自覚して活動してきました。市民連合おたの会、共闘する野党の皆さんと交わした「政策協定」は、私にとつては宝です。「憲法に基づく政治を回復する」「格差と貧困を是正する」「気候危機から地球環境を守る」「ジェンダーの視点に基づいた自由で公平な社会の実現」など国政上の大事な課題とともに



に、「荏原病院を都立に戻し充実させる」「羽田新飛行ルートを中止し海上ルートに戻す」「リニア新幹線の工事中止」「大田の宝である中小企業、町工場を守る」という大田区民の願いが詰まっているからです。

大田では、様々な困難を乗り越えて、市民と野党の共同が前進、発展してきました。大田区長選、都議補欠選挙で、立派に共闘を前進させ、成果を出してきたことを確信に

して、次は総選挙・東京区で自民党に、そして第二自民党に打ち勝って勝利する決意です。

同時に、共闘を前進させるためには、日本共産党が強く大きくなるのが不可欠です。日本共産党の比例での躍進のために、比例候補のひとりとして全力を尽くします。

谷川智行

※山添拓参院議員、森愛都議（写真）も駆けつけ応援メッセージを頂きました。

区内活動

写真 左 JR大森西口宣伝

下 訪問活動



雪谷民主商総会に出席

雪谷民商の総会に来賓としてお招きいただき、連帯とお祝いのご挨拶をさせていただきました。大田区には、3つの民商があります。

74年前に大田民主商工会が

結成され、70年代に、蒲田民主商工会と雪谷民主商工会が大田民商から分離独立。それぞれに、広い大田区の津々浦々に根を張った活動をされています。

消費税増税やコロナ災害、物価高騰などに苦しむ業者の皆さんを支える本当に大切な役割を發揮されました。商店や町工場でお話を伺い、日本に民商があつて本当によかつた…と何度思ったか分かりません。そんな思いを込めて、敬意と感謝をお伝えしました。同時に、インボイス中止、消費税減税、健康保険証の存続、大軍拡ストップなど、命とくらし、営業を守るため、連帯してたたかう決意も述べまし



定例宣伝

毎週火曜日

朝：JR蒲田駅西口

夕：JR蒲田駅東口

毎週木曜日

朝：京急蒲田駅

夕：大森駅西口

※朝（7：30～）

※夕（17：30～）

※諸事情により

変更になる場合があります